

平成29年度 岡崎市予算編成方針

基 本 方 針

政府の平成29年度予算の基本方針は、経済財政運営の基本方針である「基本方針2016」の下で、歳出改革の取組を強化しつつ、人口減少、少子高齢化などの構造的な課題に対処するため、一億総活躍社会の実現などの重要課題に係る取組を推進するとしている。

このような中で、平成29年度は、次の100年の礎を築くため、未来を見据えた持続可能なまちを創ることが重要であり、中長期的な視点で魅力ある施策を実施していく必要がある。

予算編成において、歳入は、市税収入は若干の増収傾向にあるものの、普通交付税の不交付団体になったことによる地方交付税の減額や、国県支出金の減額が顕著であることなど、依然厳しい状況が予想される。

一方、歳出は、公共施設の維持管理経費や社会保障経費の増加への対応とともに、引き続き、第6次総合計画の重点プロジェクト、「岡崎市まちひとしごと創生総合戦略」の着実な推進を図り、地域の活性化に取り組んでいかなければならない。

よって、歳入は、特定財源の確保、財政調整基金を始めとする各基金や市債の活用で財源確保を図ることとする。歳出は、一切の聖域を設けることなく、あらゆる分野で施策の有効性、効率性の点検を行い、多額の不用額が生じないように、厳しい歳入状況を十分に勘案し、それに見合った歳出を原則とする。